

私のもつたいない

沖縄県立沖縄高等特別支援学校三年 平 暖心

ある朝、弟とケンカした
汚い言葉を吐いたりもした
一日中、口をきかなかった
でも、私はふと思った

「もつたいない」と
ケンカして話さない時間

「もつたいない」
戦争中、一緒に居たくても
話をしたくても
できなかった家族がたくさんいたはずだ
今、家族と居られるだけで
私は幸せなはずなのに
その時間を自分でなくしてしまうのは
「もつたいない」

ある日、給食中に友達が言った
魚、苦手だな。と
私にも苦手な食べ物がある
きっとみんなにも少しはあるはず
でもここでも私は思った

「もつたいない」と
食べ物を残してしまうのは

戦争中、食べ物が少なくて
栄養失調で亡くなる人
敵だけじゃなくて空腹とも戦って
辛い思いをした人はたくさん居たはずだ
お腹いっぱい食べられるだけで

私は幸せなはずなのに
食べられる物を残して捨ててしまうのは
「もつたいない」

何気ない日々を生きている中で
「もつたいない」を感じ
それが平和だと気付かされた
「もつたいない」ことだらけの日々だけど
それは私やみんなの幸せだったんだ
家族と居られること
食べるものがあること
生きていること
全てに感謝したい
戦争で亡くなった多くの人のためにも
今、世界中で苦しんでいる人のためにも
私の「もつたいない」を減らしていきたい